

寺社Now

www.jisya-now.com

巻頭特集

寺社の社会貢献 - 地域振興の取り組み -

地域の行政や組織と 連携する寺社

活性人

美波多神社宮司

佐久真 みゆき

全国寺社イベント

東京・大龍寺「ガラスペン写経」

お寺・神社向け情報誌

vol.8

JANUARY 2016

インタビュー

氏子さんや地域のため、常に前向きに
大阪天満宮を中心に地域の活性化へ邁進

寺井 種伯

大阪天満宮宮司

“世界共通・正確・簡単”がキーワード 地方創生にも期待できる「オレンジナンバー」

日本政府は2013（平成25）年より、日本経済を力強いものに立て直すための成長戦略の柱として「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」を実施。2015年は、インバウンド新時代に向けた観光振興の加速など、幅広いプログラムが策定され、政府一丸、官民一体となった取り組みが進められた。

将来3000万人を超える外国人旅行者を日常的に迎え、もてなす国の姿・社会のあり方につき、より一層強力な態勢を整えて行く必要があるだろう。

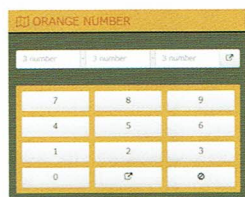
画期的システム 「オレンジナンバー」とは

徳島市の次世代情報システム有責任事業組合が「観光立国日本」実現を最大のビジネスチャンスと捉え、訪日外国人旅行の受入環境整備の一つとして「オレンジナンバー」を開発した。

「オレンジナンバー」とは、インターネット以外の媒体（紙・看板・音声など）からピンポイントでネット

情報につながるリンクシステムで、多言語化に対応するための音声認識アプリケーションを導入し、訪日外国人への対応も可能にした画期的システムとなっている。

使用法は、まずスマートフォンから無料アプリ「オレンジナンバー」をインストール。観光マップやパンフレット、看板、案内表示板、広告、新聞などに記載されている9桁の番号を入力し、外部リンクボタンをタップするだけで該当の観光スポットやランドマークのサイトにアクセスできる。「世界共通」の数字の入力で、正確かつ簡単に情報を得ることがツール、それが「オレンジナンバー」だ。



徳島県三好市が 全国に先駆け導入

現在、四国の自治体では最大面積を有する徳島県三好市が、全国に先駆けて「オレンジナンバー」を

導入。三好市役所観光課の大和主査も「日本三大秘境「祖谷」や国指定名勝天然記念物「大歩危」などの観光地に恵まれ、インバウンド誘致に力を注いでいる当市では、オレンジナンバーが観光客にとって知りたい情報を正確かつ簡単に収集できるツールになるはず」と大きな期待を集めている。



国指定名勝天然記念物「大歩危」

オレンジナンバーの 寺社での可能性

徳島県三好市のようにインバウンドに力を入れている観光地において、外国人向けの情報ツールとして有望な「オレンジナンバー」。寺社

においても外国人向けの案内板に代わる有力なツールとなる可能性がある。既存の日本語の案内板にオレンジナンバーを表示すれば新たに外国語の看板を設置することも不要で、寺社の厳かな雰囲気をも崩すことな

く多言語の情報を提供することができる。実際の運用にあたっては、外国語のサイトが必要となるが、今後寺社においても、外国人参拝者向けに外国語のサイトを用意しておくことは当然求められてくる。また、オレンジナンバーの開発元である次世代情報システム有責任事業組合に相談すれば外国語サイト作成の代行もしてくれる。

ラグビーのワールドカップや東京オリンピックなどの開催により過去最高の外国人旅行者の増加が見込まれる今、世界共通・正確・簡単をサービスの武器としたシステム「オレンジナンバー」が寺社も巻き込んだ地方振興にも貢献できる情報ツールとして注目される。

オレンジナンバーについてのお問い合わせ
次世代情報システム有責任事業組合
電話 088-678-3020
<http://www.johou.org/>